

平成28年度市民意識調査の設問についてのご意見(令和3年6月25日)

グループ名	設問番号	内容について
A	F1	「その他」という表記は抵抗があるので、「どちらでもない()」という表記がいい。
	F3	質問事項に「※事実婚を含む」と記載があるし、選択肢の「2夫婦のみ」ではなくパートナーとの同居や兄弟姉妹との同居などの場合もある。「5 その他」に例として「パートナーとの同居」「兄弟姉妹との同居」を入れてはどうか。
	F5	この設問は必要なのか。家族構成を聞くならF4のみでいいのではないか。この設問が必要なら学校に通っておらず仕事をしていない人もいるので、「未就学児」、高校生以下は「18歳未満」、大学・短大生・専門学校生は「18歳以上」、「65歳以上」という表記でいいのでは。
	F7	非常にあいまいで答えにくく、設問の意図がわからない。設問F7を残すならすでに最初の設問で性別はわかっているので、「ア 女性(男性)として」は「ア 個人として」にし、「イ 母親(父親)として」は「イ 親として」にし、「ウ 妻(夫)として」は非常に答えにくいので外す。
	問1	答えの中に自由意見の欄を設けてもいいのでは。
	問2	・答えの「(カ)高額な商品や土地、家屋の購入」は不要では。 ・家長としての権限などの意識調査になるので(カ)は残したほうがいい。【会議終了後に追加でいただいたご意見です。】
	問4	・この設問は必要なのか。回答の内容はあくまで個人としての意見なのではないか。 ・ 性意識・ジェンダー意識 などの特性を調査するために行うが、この設問は誘導につながるので外した方がいい。
B	問14	設問の中の最初の「男性にお聞きします」はいらぬのでは。例えば性別欄で「その他」に答えた人などは、あまり気持ちが良くないのではないか。全体的には聞き方として男女の区別はしない方がいい。
	問15	生理に関することを追加したほうがよい。
	問20	LGBTを追加してはどうか。
	問23	この質問はいらぬのではないか。
	問24	項目の数が多すぎる。10項目くらいにしてはどうか、前回の結果を見て、例えば全く選ばれていないものはなくしてもよいのでは。